センシング技術シンポジウム2026
および 2026年度第3回センシング技術・次世代パッケージングコンソーシアム研究会
プログラム（暫定版）

日時：2026年12月4日（金）10：00～18：15

場所：産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館11階 会議室1～4（オンサイトのみ）

主催：産総研 センシング技術研究部門　　共催：SenTePackコンソーシアム

【概要・趣旨】

2026年センシング技術シンポジウムでは、日本の成長と投資を支える戦略分野・製品・技術について、現状と課題を共有するとともに、センシング技術が果たす役割と今後の成長ポテンシャルについて議論します。2026年6月、日本成長戦略本部は、官民による国内投資を加速するため、17の戦略分野と61の重点製品・技術を提示しました。これらの分野では、ボトルネックの解消や市場創出、国際連携などを通じて、2040年に向けた成長投資の加速が期待されています。

産総研では、情報駆動型社会における競争力の源泉を「情報を得る力」と捉え、2019年よりセンシング技術を核とした研究ユニットを整備し、開発を推進してきました。独自のセンシング材料・インターフェース、高感度センサ、可視化技術、モニタリング技術、状態推定・予知システム、Physical AIやロボットを活用した自動情報収集などを開発するとともに、以下の重点WGを中心に産学官連携を進めています。

- Physical AI分野　：人・機械インタラクションWG
- 半導体分野　　：半導体製造センシング・実装技術WG
- マテリアル分野　：センシング材料WG、環境モニタリング技術WG（含むバイオ）

本シンポジウムでは、日本の成長戦略分野における課題と将来像を共有し、センシング技術がどのように課題解決や新産業創出に貢献できるのかを議論します。産学官が連携し、センシング技術を起点とした新たな価値創造と産業成長の可能性を探ります。

10：00～10：15　オープニング

10：00～10：05　開会挨拶

産総研 エレクトロニクス・製造領域 領域長 安田 哲二

10：05～10：15 「センシング技術研究部門の概要と研究開発の方向性（仮）」

産総研 センシング技術研究部門 研究部門長 植村 聖

セッション1：Physical AI/ロボット関連（10：15～12：35）

10：15～10：45 **【基調講演】講演1-1**「（TBC）」
講演者：（TBC）

10：45～11：15 講演1-2「データ連携による人・ロボット・工作機械の協働」
産総研 次世代ものづくり実装研究センター 研究センター長 増井 慶次郎

11：15～11：25 休憩

11：25～11：55 講演1-3「（TBC）」
産総研 ウェルビーイング実装研究センター 研究チーム長 山野辺 夏樹

11：55～12：25 講演1-4「AI研究者から見たAIの現在とセンシング技術への期待」
東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授 山崎 俊彦

12：25～12：35 セッション1サマリー 「センシング技術で拓く、Physical AI/ロボット関連の勝ち筋」
産総研 センシング技術研究部門 研究グループ長 武居 淳

12：35～13：30 休憩・ポスター展示
展示会場：別館11階 リフレッシュコーナーおよび会議室4

セッション2：量子・半導体製造関連（13：30～14：40）

13：30～14：00 **【基調講演】講演2-1**「Rapidusの挑戦と革新を支える見えない力―管理・制御技術の真価―」
Rapidus株式会社 専務執行役員 オペレーション本部 本部長 赤堀 浩史

14：00～14：30 講演2-2「先端半導体を支える次世代めっきプロセスモニタリング」
産総研 センシング技術研究部門 研究グループ長 岩﨑 渉

14：30～14：40 セッション2サマリー 「センシング技術で拓く、量子・半導体製造分野の勝ち筋」
産総研 センシング技術研究部門 研究グループ長 日下 靖之

14：40～15：50 ポスター展示
展示会場：別館11階 リフレッシュコーナーおよび会議室4

セッション3：マテリアル関連（15：50～18：10）

15：50～16：20 **【基調講演】講演3-1**「ネイチャーポジティブ経済に関する国内外の政策動向（仮）」
環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性ビジネス推進室 室長補佐 菊池 瞳

16：20～16：40 講演3-2「環境センシングとデータ統合が拓くネイチャーポジティブ社会」
産総研 センシング技術研究部門 主任研究員 竹村 謙信

16：40～16：50 休憩

16：50～17：20 講演3-3「圧粉磁心が拓くモータの易解体化と資源循環」
住友電工焼結合金株式会社 電動モジュール開発室 室長 上野 友之

17：20～17：40 講演3-4「資源回収を拓く易解体接着技術と残存価値センシング―欧州資源循環戦略（ELV規制と9R戦略：DIN2403）への勝ち筋―」
産総研 センシング技術研究部門 総括研究主幹 寺崎 正

17：40～18：00 講演3-5「計算材料科学を活用した窒化物圧電薄膜の高度化」
産総研 センシング技術研究部門 主任研究員 平田 研二

18：00～18：10 セッション3サマリー 「センシング技術で拓く、マテリアル分野の勝ち筋」
産総研 センシング技術研究部門 研究グループ長 藤尾 侑輝

18:10～18:15　クロージング
閉会挨拶

産総研 センシング技術研究部門 副研究部門長 山下 健一

18:15～19:15　懇親会
会場：臨海副都心センター 別館11階 リフレッシュコーナー

※プログラムは変更となる可能性があります。
※このシンポジウムにおいて、弊所内の資料とするため一部を録画することがございます。
※このシンポジウムの開催に関して収集した個人情報は今後のシンポジウムのご案内ほか、コンソーシアム活動及びセンシング技術研究部門の広報活動に限定して活用させていただきます。

ポスター展示について

展示時間：12：35～13：30、14：40～15：50
展示会場：別館11階 リフレッシュコーナーおよび会議室4
Physical AI/ロボット、量子・半導体製造、マテリアルの3分野に関連する産総研技術、WG活動、企業との連携事例を中心に募集・調整し、決まり次第、順次公開します。

お問い合わせ先：
センシング技術シンポジウム事務局
（国研）産業技術総合研究所 センシング技術研究部門内
Email：M-st-symp-official-ml@aist.go.jp